



C：ローマ数字で100を表す

◆巻頭言 神の手から人類の手へ

人類は自然環境の枠の中で暮らしてきた。地震、津波、雷、火山の爆発、台風、豪雨になぞらえる人知の及ばぬことは神のおぼしめしと、神のもとにひれ伏してきた。人類に対する生殺与奪の権は神が握ってきたのである。ところが、「そうではない」という感がでてきたのである。人類を滅亡に至らす生殺与奪の権はいつのまにか神から人類に渡されてしまっているのではないかと。その理由の第一が核ミサイルであり、その第二が原子力発電所である。核ミサイルや原発の使い方一つで、人類は滅亡の道をたどらなければならないわけである。日本の原発は米仏について55基(第3位)である。(うち廃炉5基、差引50基、さらには建設中3基、計画中7基)。原発は地球温暖化を進める炭酸ガスを発生させない。しかし、これも原発に事故なかりし時である。はたして人類は原発を本当に制御できるのだろうか。

関西電力高浜原発3,4号機について、司法は稼働中にも拘わらず運転の差し止めを命じた。根拠は福島原発の原因究明が明らかにされていない今、新規制基準の国の定めに対する不安である。福島原発の事故以来5年を経過する今、最大の問題は3基の原子炉のメルトダウン(核燃料が溶融し圧力容器の底に溜まった状態)であり、炉心近くには放射能濃度が高すぎて近よることさえできず、解決の糸口も見えない状態である。安全を確保するのに何年を要するであろうか。放射能汚染物質は東電敷地内も敷地外も、いずれも広大な敷地に行先も決まらず野積みされている。これを見ると、これからどうなるのか懸念せざるを得ない。平和な日本をいのる。

(上手記)

次回の予定 ● 28年4月活動予定
① 4月9日(土) 14時~18時頃まで 瀬上さとやまもりの会 第四回会員総会

- ・ 場所：港南台せきれい団地集会所(港南区港南台4丁目36番地)

- ・ 次第：勉強会 14時~15時

- 会員総会 15時10分~

- 親睦会 総会終了後~18時頃まで

② 4月24日(日) 9時半~14時半

- ・ 集合場所 池の下広場

- ・ 作業場所：中尾根作業エリア東側といっしんどう作業エリア

- ・ 作業目的：管理型スギ林を目指した保全活動

- ・ 作業内容：いっしんどうエリアの「セイカアツチク」の駆除作業

- 罹患木・欠損木・弱小木・暴れ木の除伐作業。

- アオキ・シロダモ・ツル植物の除伐。

- ・ 持ち物 常備具(カマ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、他必需品

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェーンソー、
(28年5月号の原稿に関し、上記活動報告は丸山氏、巻頭言は山上氏、リレートークは長谷川氏です。原稿の締め切りは28年4月25日(月)、小宅氏迄宜しくお願いします。) 欠席される方は、メール(TOKAMI6666@aol.com)又は電話(894-2800)で山上部会長迄。

【瀬上さとやまもりの会 活動日誌】

(1) 平成28年3月13日(日) 曇り時々薄日 9:00~14:00
参加者：石渡、伊藤、枝村、小宅、佐谷、上手、高嶋、竹内、長谷川、前村、山上、渡邊富、渡部 計13名
作業内容：本日は持参したバケツに中尾根に生育中の『コナラ』『クヌギ』などの落葉木をいっしんどう下へ移植予定。用意した添え木10本なので、その範囲での幼木を中尾根で抜く。結構根が長かったりで、時間を取るも無事移植終了。女性陣は抜いた後始末と残った苗木の剪定作業などや、鬼山椒など抜き中尾根の整備をした。いっしんどう広場で当会の打ち合わせと総会を実施した山上氏参加の『瀬上池保全計画』予算の関係で浚渫は終了、池の周りの手入れについては池の右側の山の手入れを当会へとの話だが、弦切、剪定程度ならどうか、などまだ決定していない。28年度施業計画について渡邊富氏より説明あり。瀬上さとやまもりの会本部の総会は4月9日(土)との事。不参加の方は委任状を提出して下さい。佐谷氏よりチェーンソーの講習会、6/26,27 参加予定者 上手氏、星野氏



参加者



コナラを抜く



植樹に添え木をする

(2) 平成28年3月27日(日) 曇り後晴 9:30~13:00
参加者：浅見、伊藤、枝村、小宅、佐谷、上手、高嶋、野沢、長谷川、星野、前村、三島、山上、渡邊富、渡部 計15名
作業地：いっしんどうエリア
作業内容：午前中：「景観保全型落葉樹林」を目指した保全作業。
ネザサ、アオキの除伐、刈取と林床の整理、保全作業。
午後：部会総会(花見)平成28年度会費(2000円)は4月中に浅見氏に届ける事。栄村森林組合での講習会が6月頃に可能か打診を行う。



皆で林床整理



保全作業後



部会総会（花見）

◆ リレートーク 「カブトムシの小径」

野沢 孝

「カブトムシの小径」とは、「ビートルズトレイル」を勝手に直訳したものです。横浜市環境創造局が提供している円海山周辺マップに緑色の線で描かれています。瀬上さとやまもりの会が保全活動をしている瀬上市民の森の尾根道が含まれています。私は、ちょっと長距離の散歩がしたいなという時には、この径を歩いています。JR 港南台駅からスタートして、この径を経由、さらにその先の鎌倉アルプスを経て、北鎌倉駅又は鎌倉駅に至るコースです。

歩行距離は約 10km、歩行時間は約 3 時間半でしょうか。住宅地の傍や市民の森を通る、アプローチのしやすい便利なハイキングコースなので、途中から入ることも、途中で出ることも容易です。鎌倉の寺院ならば、瑞泉寺、覚園寺、建長寺などへ下ることもできます。あるいは、この逆コース、つまり、北鎌倉駅を起点にすれば、また違った趣があるかもしれません。日頃の運動不足を補うため、気分転換のため、「カブトムシの小径ハイキング」にお出かけになってはいかがでしょうか。

◆ 編集後記

ここの所、ほとんどの活動に参加する事を阻害していた要因であった役割の一つが平成 27 年度で終わった。足腰が弱り、腰痛も悪化したりで皆様に付いて行けるか不安ですが、マイペースで自分の体調に合わせて 4 月から第 4 週の活動に参加したいと思っています。 (押木)